大阪市立 住吉 図書館



南海高野線「説のちょう」をおりて、東へ400メートル している一部はかり線「我孫子町」をおりて、西へ800メートル

あいている時間

深みの凸

月曜日、毎月第3末曜日(祝日と7月21日~8月31日の月曜日はあいています)、発素年始、蔵書伝検期間



ままきか しゅっと しょかん 大阪市立図書館ホームページ

https://www.oml.city.osaka.lg.jp/

こども版調べかたガイド:答文版



①住吉区のなりたち

②大和川のつけかえ



住吉区マスコットキャラクター「すみちゃん」

この調べかたガイドは、文ごとに2つのことがらを選び、それについて調べるのに 炎症の図書館の本や、ホームページで見られる情報を、まとめたものです。

 $lacksymbol{\square}$ …大阪市立図書館の「書誌 $lacksymbol{\square}$ 」(問い合わせや予約をする時に便利です。)

* ・・・・・住吉図書館にあるもの (*の無いものも、予約して取り寄せることができます。)

Z

···小学生から読めるもの

WEB ・・・大阪市立図書館のホームページにのっている情報です。

しょうかいした本やホームページなどは、一例です。

図書館ホームページ「おおさか資料室」や客館のページにも、「よくある質問」や く 区に関する資料のリストがあります。見てみてください。

もっとくわしく知りたいときは、図書館のカウンターで相談してください。図書館 つまがお手伝いします。

すみょしく 住吉区のなりたち

今の住吉区があるところは、古代から「すみのえ」や「すみよし」とよばれ、今の住之江区・東住吉区・平野区・堺市の一部とあわせて「摂津国住吉郡」でした。1878(明治11)年、大阪府住吉郡にかわり、1896年(明治29)年、東成郡の一部となり、1925(大正14)年、大阪市住吉区になりました。今よりも広かった住吉区から、1943(昭和18)年に阿倍野区・東住吉区が分かれました。さらに1974(昭和49)年に住之江区が分かれて、今の住吉区の形になりました。



「『大阪』住吉神社」(大阪名所絵葉書[1]』より) WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」→ 「住吉大社」で検索

『わたしたちの住吉区』 住吉支部社会科研究部編 住吉支部社会科研究部 1979 *ID 0090008039 26 『住吉区誌 -分区十周年記念-』住吉区役所編集 吉区分区十周年記念事業委員会 1953 *□<0000244945>』

『住吉区史』 大阪都市協会編集 住吉区制七十周年記念事業実行委員会1996 *ID <0000624165>

『日本歴史地名大系 28-[1] 大阪府の地名1』 平凡社1986 *□ <0000156512>

ゃまとがわ 大和川のつけかえ

世の大和川は、今の柏原市から西北の方角に、いくつもの川にかかれて流れ、大阪城の北で淀川に注いでいました。まわりのとちなりも川底が高かったため、大雨のときは何度も川の水があるれました。江戸時代、今米村(今の東大阪市)の庄屋・中甚兵衛などが、水路を変えるよう幕府に求め続け、1704(宝永元)年2月から10月にかけて、江戸幕府がつけかえ工事を行いました。その後、大和川は、今の柏原市から西に向かっておおさかわん。そそ大阪湾に注ぐようになりました。

『甚兵衛と大和川-ジュニア版-』(大和川叢書 3) 中 九兵衛[著] 中九兵衛 2007 *ID <0011472486> €

『わたしたちの大和川』「わたしたちの大和川」研究会監修・編集 「わたしたちの大和川」 研究会 1999 *□ <0000785958> 🎤

『甚兵衛と大和川 -北から西への改流・300年-』 中 九兵衛[著] 中九兵衛 2004. *□ <0010702636>